

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 千葉市立白井小学校 (※正式名称を記載)
種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫^{※注1}
 中学校 中高一貫^{※注2} 高等学校
 教員養成大学 専修学校、各種学校
 特別支援学校
 その他 (例：小中高一貫)
※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒 265 - 0053
千葉県千葉市若葉区野呂町215

E-mail sri-es@cabinet-cbc.ed.jp
Website http://www.cabinet-cbc.ed.jp/school/es/031/index.html

幼児児童生徒数 男子 95 名 女子 91 名 合計 186 名
幼児・児童・生徒の年齢 6 歳～ 12 歳

2. 報告期間

平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月

※報告書提出時点～平成 30 年 3 月末までの活動は、予定 (見込み) として記載ください。

3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要 (800 字程度+活動内容を表す写真数枚)

※チェック事項 1-1、2-1 に対応

【ユネスコスクール研究主題】

豊かな心をもち、たくましく生きる白井っ子の育成
～知ろう つなげよう 白井のこと、世界の国のこと～

ユネスコスクールの学年のねらい

低学年…自分の住んでいる地域の文化・自然を知ること。

自分が住む地域とは異なるいろいろな文化や人々の生活があることを知ること。

中学年…地域の伝統文化や歴史、自然の豊かさを大切にしようとする事。

外国の伝統文化や自然、生活習慣に関心を持ち、尊重するとともに自分の地域に誇りを持つこと。

高学年…日本の伝統文化や歴史、自然を学び、その文化を継承しようとする気持ちを持つこと。

世界と日本の文化や歴史を知り、地域の良さを世界に発信しようとする事。

具体的な活動

①国際理解、文化多様性に係わる活動

本校は、千葉ユネスコ協会と千葉大学留学生課の協力により、これまでにネパール（22年度）、スリランカ（23年度）、インドネシア（24年度）、マレーシア（25年度）、韓国（26年度）、ベトナム（27年度）、メキシコ（28年度）との異文化交流をさせていただくことができた。29年度も千葉ユネスコ協会の協力を得ながら、千葉大学に通う中国からの留学生7名の方々と異文化交流を行った。当日は、保護者にもお知らせし、より多くの方に参観してもらえるようにした。

②地域の伝統文化、文化遺産に係わる活動

6年縄文土器焼き

地域から見つかる土器のかけらを発端に歴史の学習を始め、実際に作り方を学びながら自分の手で「マイ土器」を製作する。成形し、乾燥させ、実際に敷地の一角で焼いてみることで、昔の人々の生活の様子に興味をもてるようにする。

6年どんど焼き

どんど焼きは、子供たちの無病息災を祈り正月飾りなどを焚きあげる。地域の方々が事前に木の枝や竹を切って予め準備し、前日に6年生とともにやぐらを組む。当日児童は、書き初め作品やならせ餅を持参し、地域の方々とともに伝統行事を行う。その後、地域の方や警察の方からのお話を聞きながら、会食や交流を行う。

③健康・福祉に係わる活動

泉自然公園での全校ジョギング

学校～農道～公園内の1.2kmコースを時間内に走る。木々の匂いや鳥の鳴き声など四季の移ろいを感じながら、気持ちよく走ることができる。また、公園内の坂や階段のアップダウンによって体力向上も図れる。



①の写真（ユネスコスクール）



②の写真（縄文土器焼き）



③の写真（どんど焼き）



④の写真（泉自然公園ジョギング）

(2) 活動の詳細

① 活動内容※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input checked="" type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input checked="" type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述)	

エ. 使用した教材 (書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名)

--

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

本校では、地域学習やユネスコスクールとしての取組を年間計画一覧表に整理し活用している。総合的な学習の時間や生活科、学級活動などのねらいにあわせて活動を位置づけ、子供の6年間の学びを意識して指導している。指導方法については、ファイルで保存し、成果と課題を担任間で引き継ぎ、継続的な指導を目指している。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

教務主任と各教科主任とで年度末・年度当初は協議する場を設け、次年度への引き継ぎを行っている。「白井小学校地域学習年間計画」を教務が作成し、担任が活用できるようにすることが効果的である。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

千葉ユネスコ協会の方からの助言や学校評議委員会の方のご意見を参考に、質の向上を図っている。

成果としては、学校と地域双方の地域理解や学校理解につながっていること、学校を取り巻く教育財産が豊富にあることがわかった。

課題としては、活動が豊富になることで、教師側の多忙感を招くこと、子供の思いを持たせる余裕がなくなり、活動ありきになりやすいことが挙げられる。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。（200字程度）

※チェック事項 2-2 に対応

他校との情報交換ができる機会が増え、活動の工夫がしやすくなった。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成（地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など）（200字程度）

※チェック事項 2-3 に対応

地域の方とのかかわりが増え、学校を支援してくださる方が増えた。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成（200字程度）
※チェック事項 2-4 に対応

行っていません。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）
※チェック事項 2-5 に対応

ユネスコスクールの活動によって、転任してきた教員であっても蓄積された財産（ファイル・実績）によって、継続的な指導がしやすくなっている。子供も同様で、次年度になったらどのような学習や活動があるのかがわかっているので、期待をして進級している。

千葉市唯一のユネスコスクール認定校という責務もあるが、教師も子供も誇りを持っているように感じる。

（3）平成 30 年度の活動計画（200～400字程度）

- 1 年生—バスの乗り方教室（特活）、バススケッチ会（図工）「昔遊び名人」（生活）、
泉公園秋探し（生活）、高齢者との白井交流会（特活）
2 年生—「サツマイモパーティ」（生活）、お年寄りとのふれあい活動（生活）、町探検（生活）
3 年生—「白井学区調査隊」（総合）、「竹名人になろう」（総合）、「パン作り」（社会）
4 年生—「白井今昔物語」（総合）・白井オリジナルパペット「ふるさと」（音楽）、戦争講話（特活）、
5 年生—バケツ稲作り（総合）、福祉施設訪問（総合）、太巻き作り（家庭）、救命救急教室（体育）
6 年生—妙興寺スケッチ（図工）、土器作り（社会）、ならせ餅作り（社会）、
どんど焼き（特活・総合）
全 校—農作物作り、全校ジョギング、泉公園春の遠足、秋のオリエンテーリング、
「白井っ子まつり」
その他の地域行事
—敬老会での発表（4年生）、町民フェスティバル発表（3・4年）
白井ふれあい大相撲（1～6年）、公民館フェスティバル作品展示（代表）